

T20250228_03_Spirent

Spirent、Siemens と提携して高度なプレシリコン検証

Spirent Communications plc(LSE:SPT)は、シーメンスデジタルインダストリーズソフトウェア(Siemens Digital Industries Software)とのコラボレーションにより、Ethernet チップセット設計検証用の高度なプレシリコンテストソリューションを提供するとを発表した。

この共同ネットワーキング・システム・オン・チップ(SoC)検証ソリューションは、複雑さを軽減し、シリコン開発ライフサイクルを加速し、データセンタ、AI ネットワーキング、サービスプロバイダのコアとエッジなどのアプリケーションに合わせた Ethernet チップ開発の迅速化への道を開くことを目的としている。

高速 Ethernet ソリューションに対する高まる需要に対応するため、Siemens と Spirent は、Spirent TestCenter Virtual をシーメンスの Veloce ソフトウェア用仮想 Ethernet テスト・ソフトウェアに統合した。このソリューションは、従来はポストシリコン検証でしか利用できなかった包括的な実世界の Ethernet トラフィック生成および結果解析機能を、プレシリコン検証プロセスにもたらす。メリットとしては、テストの複雑さが軽減され、Ethernet チップセットの設計と開発が加速される。

「Siemens と協働して、シリコン検証前と後のギャップを埋め、統合されたエンドツーエンドのソリューションを顧客に提供できることを嬉しく思う」と、Spirent の有線製品管理担当 VP、Aniket Khosla はコメントしている。Siemens はハードウェア支援検証のイノベーターであり、今回のコラボレーションにより、最先端の IC 設計検証ツールが提供され、顧客は設計プロセスの早い段階で重要な問題に対処し、Time to Market を短縮することができる。この共同ソリューションにより、Ethernet チップセットの設計とテストが簡素化され、開発時間が短縮され、新製品が期待される性能基準を確実に満たすことができる。

「かつてないほど要求の厳しいネットワーキング市場が、ハードウェア・エミュレーションの仮想化に大きな革新をもたらした」と、Hardware-Assisted Verification, Siemens Digital Industries Software 担当 VP/GM、Jean-Marie Brunet は話している。「Spirent TestCenter Virtual に対する Veloce ソフトウェアの認定は、最先端のネットワーキングの顧客に高性能なシステムレベルのテストソリューションを提供する長期的な協力関係に基づいている。」

この新しい統合により、Veloce エミュレータの高性能モデルチャネル帯域幅とスケーラビリティが活用され、Spirent TestCenter Virtual による確定的なフルシステム検証が可能になる。この統合により、相互の Ethernet ネットワーキングの顧客向けのラボベースの検証インフラストラクチャが加速され、Siemens の Veloce プラットフォーム上の高性能なプレシリコン・テスト環境に移行できるようになる。

この共同ソリューションのハイライト

•Time to Market 加速:

このソリューションは、設計サイクルの早い段階で問題を特定することで、シリコン開発プロセス全体を加速し、リスクを軽減し、製品の発売を迅速化する。

•スケーラビリティと柔軟性:

1G~800G までの速度をエミュレートし、最大 1024 のポート数をエミュレートできるこの仮想ソリューションは、動的トラフィックパターンと高度な結果分析をサポートする。また、この仮想ソリューションを使用すると、新しい機能をすばやく追加して、必要に応じて新しいユースケースを実現できる。

•費用対効果の高いテスト:

初期段階のテストにより、コストのかかるハードウェアのアップグレードや複雑な展開の必要性が減り、チップセット開発のための費用対効果の高い代替手段が提供される。